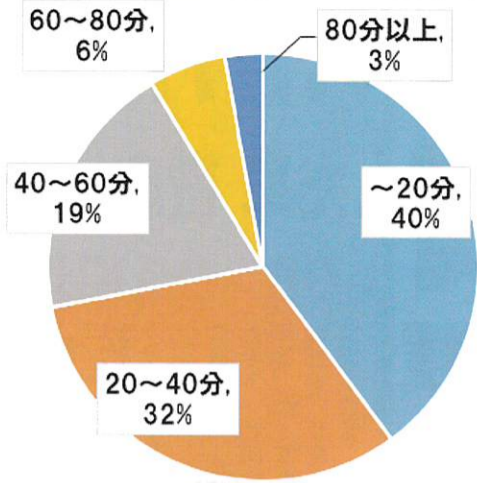
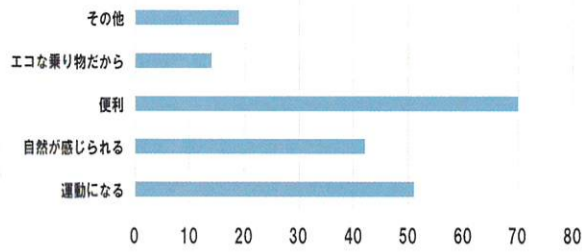


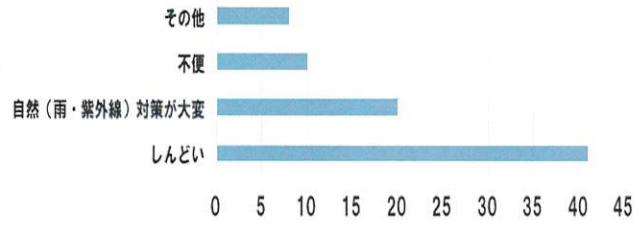
通学で自転車を使用する時間(片道)



自転車が「好き・どちらかといえば好き」の理由



自転車が「どちらかといえば嫌い・嫌い」の理由



八工生 自転車事情 **好き・どちらかといえば好き 32%**
8割が通学に使用 **嫌い・どちらかといえば嫌い 12%**



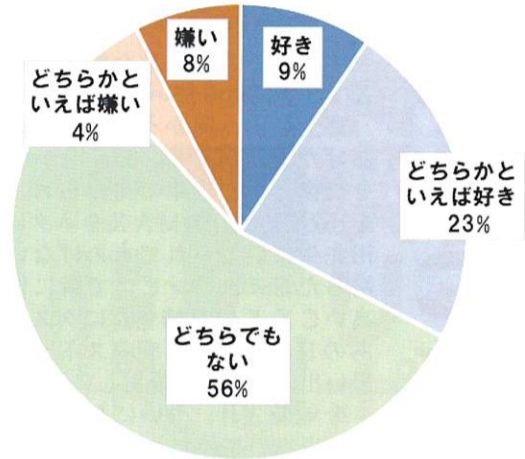
↑山口和士くん(3-1)
ママチャリ代表!雨にも負けず風にも負けず毎日良い気分♪

本校生になくなくてはならない足・自転車。高校生の車は自転車(チャリ)だ。ボクらはコレでどこまでも行く。片道25キロかけたって、雨だって、雪だって、自転車で八工へ通うんだ(新聞部員談...)。八工生の自転車事情をデータで深掘りしていこう!

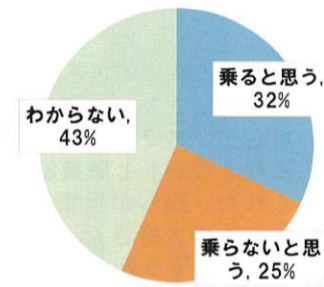
あなたは自転車が好きですか?の問いに、「好き」「どちらかといえば好き」を答えたのは32%、「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と答えたのは12%。「どちらでもない」は56%を占めた。「好きな理由は、「便利」を筆頭に「運動になる」「自然が感じられる」など。嫌いの理由は、「しんどい」がトップ。「自然(雨・紫外線)対策が大変」「不便」

八工生の自転車所有率は98%、うち78%が毎日の通学に自転車を使用している。通学での自転車使用時間は片道で40分以内が全体の7割を占める。一方で、片道一時間以上、毎日自転車を漕ぎ続けている八工生も1割程度いる。(グラフ1)夏場に、八工走・体育の水泳・自転車通学のトライアスロンをしている八工生は10人に1人程度いるわけだ。

あなたは自転車が好きですか

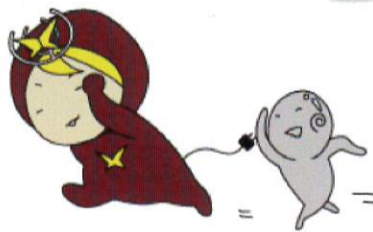
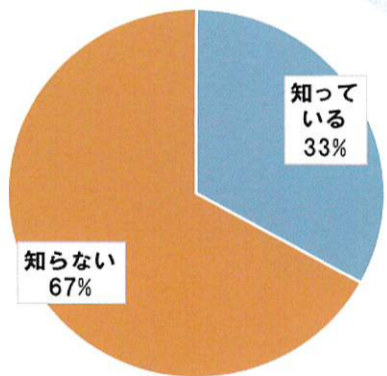


車の免許取得後、自転車に乗りますか



免許取得後 自転車乗る 32%
乗らない 25%

「ビワイチ」を知っていますか



やねん



りになった。現在は、自転車身近な高校生。いざ免許を取得したときの自転車使用状況は推測よりもかなり下がるのだろうか。

風雨の時大変、日晒けがイヤ、荷物が多いと不便、汗だくになる、自転車だと服装を選べず、なかなかに乗りにくいと、なかなか自転車を使いたくない人は少なくない。「滋賀県在住で車の免許が取れたら、そうなるよな」と思いつつ、先生方にアンケート結果を見ていただいた。

家庭科の直居先生によると「自転車は、持続可能な社会を目指していくこれからの日本人々に、ぜひともっと利用してもらいたいツール」という。なぜなら「自転車は運動不足解消、メタボ解消、ひいては介護予防が出来る、排ガスゼロの環境に優しい乗り物」だから。

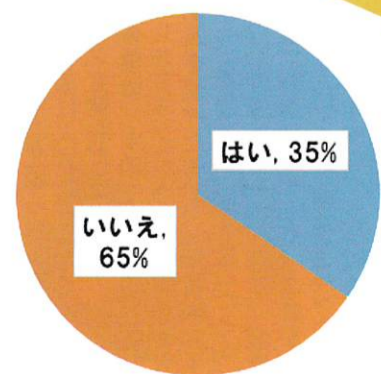
自転車の可能性を追い求めてみたい。そのためには「自転車でも走りやすい街づくり」が必須だ。その方策を八工新聞部として、今後継続して探っていききたい。

自転車に乗るきっかけとしての滋賀県ならではの取り組みに「ビワイチ」がある。みなさんはご存じだろうか。八工生にビワイチについて

でも免許を取っても乗りますか?

知っている八工生 33%

ビワイチをしてみたいと思いますか



学生・大人・高齢者 皆に良いツール

聞いてみた。ビワイチの認知度は33%。67%が「知らない」という結果だ。予想外に低い結果だ。また、ビワイチを知っている人と答えなかった436人の中で、ビワイチをしたことがある人は、9%の12人。今後してみたいと答えたのは35%の46人にのぼった。認知している人にとっては、ビワイチは、魅力的に映っているようだ。

自転車は走りやすい街になれば、事故が減ることにつながる。子ども・学生・高齢者にとって住みやすい街になる。大人にとつては健康にいい。滋賀県では、広めの車道に自転車走行レーンが記す青い矢羽根印が付いているところもあるが、ちよつとした段差をなくすなど、インフラの老朽化を整備していくと同時に、すべての行きかう人(歩行者・車いす・自転車・バイク・自動車)に優しい視点がどこまで盛り込まれるかに注目していきたい。(紅)

インフラとは：インフラストラクチャー。基盤施設。国民福祉の向上と国民経済の発展に必要な公共施設のこと。